

傍聴のご案内

ご案内

議場での傍聴は、議員の熱意を感じながら市議会の活動内容を知ることができ、最も身近な方法です。

市議会の本会議は一般の方にも公開されており、本会議当日に市役所3階で受け付けをするので、どなたでも傍聴することができ



3階議会フロアの傍聴者受付

また、より傍聴しやすい環境等を整えるため傍聴規則を見直し、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の理念などを追加しました。

これから、市民の皆様が安心して傍聴できる環境を整えていきます。



新型コロナウイルス感染症対策用の非接触型体温計

傍聴者

のご案内

議会では、市民の皆様との身近な問題が取り上げられ話し合われています。社員研修の一環として、9月定例会の一般質問を傍聴され、市立図書館指定管理者である「株リブネット」の職員の方より感想が寄せられていますので紹介します。

感想

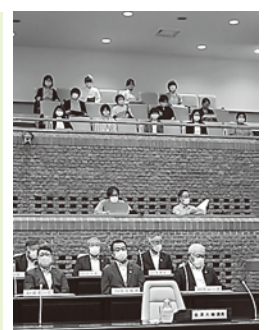
ぎかいだよりやインターネットなど、知ろうと思えば知ることが出来る市政であるが、難しそうで自分の中では、敬遠しているところがあった。

今日初めて議会を見学して、私たちの生活に密着していることが話し合われていることを実感した。議員の方は、ここを改善すればもっと市民が暮らしやすくなるのではないかとこの案を、市民の意見を聞いたたり、他の自治体の事例を参考にすると、具体的に提案していた。

自分も選挙権をもつ鹿角市民の一人として、また市の図書館に勤務する一員として無関心ではいけないと思った。まずは、情報をしっかりとキャッチするように心がけていきたい。

感想

今まで市議会の本会議は、一般公開されていることは



傍聴者の様子

知っていたものの、新聞やきりたんぽFMニュースや広報、ぎかいだよりなどの写真で見ると、傍聴したことはなかった。議員の方の質問から、これからの鹿角市のために取り組みたいこと、市に改善してほしいこと、また、議員の方が実際に様々な場所で聞いた市民の声や現場の声を市長に直接、市民の代表として一般質問を通して届けてくれているのがよく分かった。

一般質問を傍聴し、今までも様々な取り組みが行われていたこと、これから取り組んでいることなど、自分の住んでいる市のことながら、知らずに過ごしていたことも多かった。

感想

このようにして、定例会の期間や一般質問の決められた時間を有意義なものにするために、見えない部分でも多くの準備がされていること、鹿角市のあらゆることが本会議場で検討・議論され市民のより良い生活のために議員や市職員が日々取り組んでいることを改めて実感することができた。

一般質問は直接市民の声を汲み上げていくためか、とても分かりやすく耳に入ってきた。市の答弁では、質問に対する支援制度があることを説明していたが、その制度自体が市民に伝えきれていないと感じた。

あまり行政に対して深く考えたことはなかったが、傍聴後、いろいろと考える機会が増え、有意義な研修だった。これからの業務にも活かしていきたい。